

第六十四回帝國議會
衆議院

少年教護法案委員會會議錄(速記)第二回

付託議案

少年教護法案(荒川五郎君外六十六名提出)
未成年者飲酒禁止法中改正法律案(丸山浪彌君外十二名提出)

會議

昭和八年二月一日(水曜日)午前十時五十六分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 牧野 賤男君

理事 蔭山 貞吉君 理事 松田 正一君

中野勇治郎君 丸山 浪彌君

中野種一郎君 田尻 生五君

河上 哲太君 荒川 五郎君

田中祐四郎君 前田房之助君

青木 亮貫君 栗原彦三郎君

一月三十一日委員佐藤與一君辭任ニ付其ノ補闕トシテ田中祐四郎君ヲ議長ニ於テ選定セリ

同日未成年者飲酒禁止法中改正法律案(丸山浪彌君外十二名提出)ノ審査ヲ本委員ニ付託セラレタリ

出席政府委員左ノ如シ

内務參與官 勝田 永吉君

社會局長官 丹羽 七郎君

司法參與官 岩本 武助君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

少年教護法案(荒川五郎君外六十六名提出)

第六類第四號 少年教護法案委員會會議錄

出)

○牧野委員長 只今ヨリ開會致シマス、先ニ提案者ノ御説明ヲ願ヒマス

○荒川委員 少年教護法案ヲ提出致シマシタ所、幸ヒ有リナ委員會ガ開カレテ、茲ニ其大要ヲ御説明申上ゲルコトハ洵ニ私ノ光榮トスル所デアリマス、抑、私ノ此案ノ改善ニ力ヲ用ヒマシタ起リハ、第四十三議會ニ初メテ少年法案ガ司法省カラ提出セラレマシテ、同議會竝ニ翌四十四議會ニモ成立シナカッタ、其當時成功シナカッタ所以ハ、感化法トノ關係ニ於テ、故障ガアリマシタ次第デアッテ、遂ニ第四十五帝國議會ニ至リマシテ、感化法トノ關係ヲ、十四歳ヲ分界トシテ、即チ刑罰能力ノアル者ヲ刑事政策ニ依ル、即チ十四歳以上ノ者ハ司法省ノ仕事トシテ少年法ニテ支配シ、十四歳以下ノ刑罰能力ノナイ者ヲ此感化教護ノ仕事ニスルト云フソコニ區別ノ協定ガ付キマシテ、漸ク此少年法ガ成立致シタノデアリマスガ、私ハ其當時ノ委員デアリマシテ、當時ヨリ痛切ニ此少年ノ感化教護ニ關シ其研究改善ノ必要ヲ感ジマシテ、爾來今日ニ至ルマデ、

間ガナ隙ガナ是ガ研究ニ力ヲ用ヒ、以來感

化業者或ハ少年審判ノ官吏、矯正院ノ役員、教育家、ソレカラ心理學者、醫學者及感化

ヤ少年保護ノ當業者ヲ初メ其他各方面ノ意見ヲ聽キマシタ、尙ホ少年審判所竝ニ矯正

院ヤ感化院等ハ實地ニ度々視察致シマシタ、又私立ノ保護團體ハ大阪邊ニ澤山アリ

マス、ソレ等モ實地ニ視察ヲ致シマシテ、私ハ倍、苟モ經世濟民ニ志ノアル者ハ決シテ

等閑ニシテハナラヌ大切ナ事ト感ジテ居リマスケレドモ、世間多クハ是ハ子供ノ問題

トシテ閑却セラレ勝チデアッテ、ドウモ大人ニ直接關係ノアル問題ハ研究ガ届クヤウデアリマスガ、此方面ニハ兎角世間ノ方ガ耳

ヲ寄セテ下サラヌ方ガ多イヤウデアリマス、偶、私ガ其處ニ引ッ掛タノデアリマス

カラ、是ハ私ガ棄テ、置イテハ相成ラヌト痛感シタ結果、早クカラ此案ヲ作りマシテ

漸ク今日ニ至ッタノデアリマス

今回此案ヲ出シマスニ當ッテ内務省ニハ社會局ガアッテ此仕事ヲ監督指導ヲセラレ、

又少年法ノ仕事ハ司法省ニ勿論其人ガアルカラ、司法ヤ内務ノ當局ノ御方ニ御相談致

シテ色々御意見モ承ッテ、サウシテ御諒解ヲ得テ出スノガ順序トモ思ヒマシタケレドモ、ドウモ役所ノ双互間ニハ色々ノ關係モアリマスルシ、又他ノ役所ニ氣兼ねト云フヤウナコトモアリマシテ、是ハ却テ私獨自ノ提案ガ宜シイカト考ヘマシタカラ、内務當局ニモ一言半句ノ御相談モ申サズ、司法省ノ方ニモ友人ガアルノニモ拘ラズ御尋モセズニ、私獨自ニ此案ヲ立テマシテ、幸ニ政友會ノ山下君ヤ或ハ田子君等ガ非常ニ共鳴ヲシテ下サレ、遂ニ七十名ニ近イ各派有力ナ提出者ノ名前ヲ列スル程ニ進ミマシテ之ヲ提出スルニ至リマシタ、之ヲ出スマデニ至ルニハ天下ノ少年ノ精神ヲ率ユル上ニ於キマシテ、私ハ精神ヲ神佛ニ捧ゲテ此改善ノ上ニ努力シナケレバナラスト眞劍ニ考ヘテ茲ニ至ッタ者デアリマス、今日漸ク此委員會ヲ開カル、ニ至リマシタコトハ、私トシテハ洵ニ有難イト存ジテ居リマス次第デ、幸ニ委員ノ諸君ハ皆教育方面ニ御志ノアル人格ノ方ガ御揃ヒ下サッタコトハ感謝ニ堪ヘマセヌ所デアリマス

此案ノ大要等ニ付テハ本會議デモ大體ノ

一

昭和八年二月一日

第二回

少年教護法案委員會會議錄

第六類第四號

少年教護法案委員會會議錄

少年教護法案委員會會議錄

少年教護法案委員會會議錄

少年教護法案委員會會議錄

少年教護法案委員會會議錄

少年教護法案委員會會議錄

少年教護法案委員會會議錄

少年教護法案委員會會議錄

少年教護法案委員會會議錄

少年教護法案委員會會議錄

少年教護法案委員會會議錄

少年教護法案委員會會議錄

少年教護法案委員會會議錄

少年教護法案委員會會議錄

少年教護法案委員會會議錄

少年教護法案委員會會議錄

少年教護法案委員會會議錄

説明ヲ致シマシタガ、一體私共ガ心理學者、教育學者或ハ醫學心理ノ方面ヤ法醫學ノ方面カラ研究致シマスルト、彼ノ刑務所ニ居ル所ノ多クノ罪人ハ皆罪惡ヲ犯シテ世ノ中ニ害ヲ致シマシタケレドモ、其眞情ニ深く立入ッテ研究シマスレバ、彼等處刑者達ハ實際憎ムベキ者ヨリモ寧ロ愍ムベキ同情スベキ者ガ多イノデアリマス、彼等ハ自分ガ惡イ事ヲシヨウ、世ノ中ニ害ヲ與ヘヨウト考ヘテ斯ル惡事ヲ行フ者ハ少ナイノデアリマス、多クハ身體ニ或ル缺陷ガアルトカ、或ハ境遇ニ抑制束縛セラレテ、遂ニ斯ル不幸ナ方面ニ押シヤラレタ者、就中精神身體ニ缺陷ガアッテ、其缺陷カラ遂ニ餘儀ナクセラレタ犯罪者モ少クナイノデアリマスカラ、是等ノ方面ハ醫學ヤ心理學ナリ、或ハ教育感化ノ方面カラ之ヲ善導シテ行ッタナラバ、此ノ如ク廢リ者ニナル天下ノ人ヲ活カス途ハ多イノデアラウト思フノデアリマス、然ルニ刑罰ニ觸レ法令ニ觸レタ者ヲ社會ハ皆惡人トシテ之ヲ扱ウテ居ッテ、彼等ノ眞情ニ立入ッテ同情ヲ以テ之ヲ補正スル方面ニ力ヲ入ル、コトノ足ラナイコトハ、國家經濟人物經濟ノ上カラ云ッテモ洵ニ殘念ナコト、思フノデアリマス

今更諄々シク申上ゲルマデモナク皆サン

御承知ノ彼ノ名高イ「ビスマルク」デモ子供ノ時分ニハ惡少年ノ甚シキモノデアッテ、話ニ殘ルヤウナ決闘デモ二十八回モシテ居ル「ビスマルク」ノ顔ハ傷だらけデアル、ソレガ幸ニ保護矯正ヲ得テ、漸ク彼ガ善心ニ直ッテ本當ノ人間ニナッタノハ三十三歳ノ年デアル、又日本デ云ウテモ織田信長ノ如キハ非常ナ放蕩者デアッテ、洵ニ手ニ負ヘナイ、今日デ云ヘバ不良少年以上ノ惡少年デアッテ、ソレヲ師傳デアル丹羽長秀ガ、實ニ血ト涙ヲ以テ之ヲ諫メマシテ、遂ニ長秀ハ自殺シタノデアリマス、即チ命ヲ以テ織田信長ヲ救ウテ、信長ハアレダケノ人物ニナッタノデアリマス、又印度ノ太守ニナッタ「ロード・クライヴ」ノ如キハマダ「惡少年デアッタノデアリマス、ソレガ遂ニ親ニモ見限ラレテ印度ヘヤラレ、サウシテソレガ幸ニ宜ク行ッテ印度ノ太守トナッテ、印度ノ政治ニアレダケノ貢獻ヲ致シマシタガ、若シ之ヲ惡少年トシテ抑範メテ置キマシタナラバ、アノ印度ノ政治ハ殆ド基礎ヲ爲サスト云ウテモ宜イ、是ハ「ロード・クライヴ」ノ努力ニ依ッテデアリマス、又今世界ニ名高イ伊太利ノ「ムツソリーニ」モ名高イ惡少年デアッタ、此頃ハ「ムツソリーニ」ノ傳記ガ澤山出テ居リマスカラ、皆様モ御讀ミデ

アリマシタラウガ、彼ガ少年時代、ソレカラ中學ニ漸ク入ルコトガ出來タガ、中學デモドレダケ亂暴ヲシテ居リマシタカ、世間ガ目ニ餘ル惡少年ト云ヒ、罪人ト云フ者デモ、若シ茲ニ溫キ感化加護ノ手ガアッタナラバ、却テ是等ハ大人傑ニモナリ、有用ナ仕事ヲ爲シ得ルノデアリマス、彼ノ電氣ノ發明者ノ「エヂソン」デモ、小サイ時分ニハ馬鹿デ仕方ナクテ、學校ノ先生ガ之ヲ持テアマシテ退校サシテ呉レト言ウタ、親父サンモ其先生ノ要求ニハ賛成シタノデアアル、馬鹿「エヂソン」ト言ハレテ友人ノ列カラモ遠ザケラレタ程ノ者デアリマス、然ルニ幸ニ「エヂソン」ノ母ガ偉カッタノデ、之ヲ正シテヤラウト云フオ母サンノ奮發ノ力ガ、遂ニ世界ノ大恩人大發明家ヲ仕上ゲルニ至ッタノデアリマス

斯様ナ次第デ、人ハ皆ソレ「天與ノ使命ヲ有ッテ居ル、一體世ノ中ニハ役ニ立タヌ人ハナイ、本當ヲ言ヘバ惡人ハナイノデアアル、告子ハ人ノ性ハ惡ナリト言ウタガ、併シ孟子ハ性ハ善ナリト唱ヘタノデアリマス、又西洋ノ學者ハ性ハ善ナシ惡ナシト唱ヘ、又ハ人ノ性ハ白紙ノ如シト申シテ居リマスガ、其何レニシテモ天ガ一物ヲ生ズルノハ、所謂天ニ輝ク一點ノ星モ、野邊ニ咲ク一輪ノ花モ、何レモ皆其生命ヲ持ッテ居ル、使命ヲ持ッテ居ルノデアリマス、ソレヲ人間ガヨク見出し能ハズシテ、爲ニ其モノガ成ハ毒物トナリ、毒草トシテ退ケラレテ居ルノデアリマス、殊ニ人間ハ一層是レ國家ニ大切ナモノデアル、ソレヲ人間ノ智慧ガ足ラス、人間ノ精神ガ足ラス、人間ノ保護ガ足ラス、人々ノ注意ガ届カヌガ爲ニ、アタラ國ノ有用ナ、天ガ造ッタ——天ハ無用ナモノヲ造ラス——其造ッタモノヲ惡人トシテ抑込メ、犯罪者トシテ之ヲ退ケルト云フヤウナコトニナッテ居ルト云フコトハ、文明進歩ノマダ「開ケナイ大ナル證據ト思フノデアリマシテ、殊ニ少年ガ今日迄ニモ感化保護ニ依ッテ善良ニ立直ッタ者ハ澤山アリマシテ、ソレガ役ニ立ッテ居ルノデアリマスガ、ソレ等ハ世間ニ聞エナイデ、惡イ方面ダケヲ見テ人間ヲ惡人ノヤウニ見テ、刑務所ヲ造ッテ國ガ多大ノ費用ヲ入レテ之ヲ抑ヘル、ソレカラ又子供ニシテモ惡イ者ヲ退ケルヤウニスル、今日ハ小學校令ニスラ停學ノ處分ヲシテ、大事ナ子供ヲ育テルコトヲシナイデ、學校カラ押出スヤウナ規則マデモアルト云フノハ、是レ洵ニ間違ッタコトノ甚シキモノト言ハナケレバ相成ラヌノデアリマス、斯様ナ惡少年ト言ハル、

子弟ヲ持ッテ居ル其人ハ、一家ノ不幸損害
ガ大ナルバカリデハアリマセス、ソレガ延
イテ國家全般ニ及ボス影響ハ如何デアリマ
セウカ、彼ノ明治三十三年ニ急イデ感化法
ヲ作ッタ動機、即チ邊ニ感化法ガ出來タノ
ハ、花村新六ト云フ者ガ本郷春木町一帯千
百何戸ノ家ヲ焼イタノデアリマス、少年ノ
保護ガ足ラズシテ、此巨額ノ損害ヲ與ヘラ
レタト云フ、此直面シタ損害ニ刺戟セラレ
テ此感化法ナルモノガ出來タノデアリマ
ス、世間ノ人ハ案外鈍感デアッテ、實物教授
ヲ受ケナケレバ多クノコトヲヤリ得ナイデ
居ルノデアリマスケレドモ、今日迄ノ是等ノ
事實ヲ調べマスレバ、ソレ以上ノ吾々ハ迫
害教育ヲ受ケテ居ルコトハ多大デアルニモ
拘ラズ、案外之ヲ少年ノコト、シ、惡少年ト
シテ顧ミラズニ居ルノデアリマス、斯様
ナル次第デ此感化教護ノ方法ヲ改善スルト
云フコトハ洵ニ一日ノ急デアリマシテ、之
ニ多少ノ費用ヲ入レテ行ッタナラバ、警察、
刑務所ソレ等ノ費用ハドレダケ減ゼラレル
カ分ラナイ、當ニ警察ヤ刑務所ノ費用ヲ減
ラスノミナラズ、一般ノ社會ノ不安ヲ除イ
テ、人生ノ幸福ヲ達セラル、コトモ極メテ
重大デアリマス、目前ノ僅カノ費用ヲ惜シ
デ、全般ノ不幸損害ヲ來スト云フコトハ、

洵ニ一文吝ミノ百文知ラズデアリマスマ
イカ、是等參考ノ事實ニ付テ御話申上ゲレ
バ澤山アリマスルガ、時間ヲ要シマスシ、
又多クノコトハ世間ニ發表シナイコトヲ望
ンデ居リマスノデ、賢明ナル皆様ガ夙ニ御
諒承ノコト、存ジマスカラ、ソレ等ノ事ハ
總テ省キマス

斯様ナ次第少年ヲ教護スルト云フコト
ハ、國家ノ當面重大ナ仕事デアアルノデアリ
マス、今日國民教育ト云フモノガアッテ、村
ニ不學ノ徒ナカラシムルコトヲ期シテ居リ
マス、然ルニ此感化保護スル人間モ、矢張
國民教育ヲ受クベキ一人デアリマス、其一
人ガ僅カ不良性ノ少年デアルト云フガ爲
ニ、小學校ニモ入ラレス、ドウシテ之ヲ教育
シマスカ、是ハ當然相當ノ方法ヲ以テ教育
シナケレバ相成ラヌノデアリマス、ソコニ
此感化教護ノ實施ガ必要ナル所以デアリマ
ス、國民教育義務教育ガ大切デアレバ、同
時ニ寧ロヨリ以上ニ感化教護ノコトニハ力
ヲ盡サナケレバ相成ラヌト思フノデアリマ
ス、隨テ是ハ少クトモ國民教育ト同様ニ取
扱フベキモノデ、司法ノ刑事政策ノ對象ニ
アラズ、又實際ヲ言ヘバ内務ノ行政處分タ
ルベキモノニモアラズシテ、寧ロ是ハ教育
ノ仕事デアアル、文部ノ大切ナル仕事デア

ノデアリマス、斯様ナ意味ニ於テ、ドウ
カ彼等少年ヲ、マダ惡ニ誘ハレナイ前ニ於
テ之ヲ引戻シ、又惡ニ陥ル虞ノアル者ヲ溫
情的ノ教育ニ依ッテ之ヲ善良ナ人間ニ導ク
ト云フコトハ、實ニ人道ノ上ノミナラズ、
國家ノ治安、國ノ經濟ニモ極メテ重大ト思
フノデアリマスルカラ、以上大要其趣意ニ
依リマシテ、本案ハ決シテ刑事政策ニ依ル
モノデナイノデアリマス、隨テ從來モ司法
省ノ管轄デナクシテ、内務省ニ關シテ居ラ
レル社會局ニ世話セラレルモノデアリマ
ス、併シ其仕事ノ主ナルモノハ教育デアリ
マスカラ、其教育ト云フコトノ精神ノ上ニ、
感化法ヲ幾多ノ改善ヲ致シタイト云フノガ
本案ノ骨子デアリマス、此案ノ各箇條相當
アリマスガ、ソレ等ハ御讀ミ下サレバ分ル
コト、思ヒマスガ、若シ御質疑ガアリマス
レバ、私共ノ知ッテ居リマスコトハ御答辯
ヲ致シマス、尙ホ之ニハ専門ノ内務司法ノ
御方ガアリマスカラ、ソレ等ノ方ヨリモ十
分御説明ヲ下サイマシテ、希クハ速ニ本案
ガ通過シテ、却テ社會ガ押込シテ捨テヤウ
トスル大事ナ人間ヲ生カシテ、社會ノ不安
ヲ除クヤウニ切ニ諸君ノ御配慮ヲ願ヒタイ
ト思ヒマス

○牧野委員長 栗原君、何カ御發議ガアリ

マスカ

○栗原委員 社會局長官若クハ内務省關係
ノ御方、或ハ司法省ノ御方デモ宜イデスガ、
此少年教護法ガ實施セラレタ場合ニ於テ、
今ノ感化院法ト牴觸スル所ガナイカ、又無
論双方一緒ニ施行シテ行クベキモノデアラ
ウト思ヒマスガ、其間ドシナ關係ニナルカ、
其點ヲ伺ッテ見タイト思フノデアリマス

○丹羽政府委員 只今ノ御尋ハ此少年教護
法案ガ實施セラレル場合ニ、感化法トノ牴
觸ガナイカ、斯ウ云フ御尋デアリマス、此教
護法案ヲ拜見致シマス、感化法ニ代ルヤ
ウニ出來テ居リマシテ、感化法ヲ廢止スル
コトガ書イテアリマス、隨テ牴觸ガナイ譯
デアリマス、内容ハ現行感化法ト比較シテ
ドウナルカト云フコトデアリマスガ、段々
異ツタ點ガアリマス、ソレハ一括シテ申上
ゲルノモ長クナリマスカラ、御尋ニ依ッテ
御答辯申上ゲマス

○牧野委員長 御諮リ致シマス、御質問ガ
アレバ十分御質問ヲ願ッテ、ソレカラ審議ヲ
進メル上ニ於テハ、關係法律ヲ皆參考ニ出
シテ貫ッテカラノ方ガ宜イト思ヒマス、部分
ノ改正デナクシテ、根本的ニ改廢ヲヤラウ
ト云フノデアリマスカラ、現行感化法ノ條
文モ諸君ガ御覽ニナル必要ガアリマスシ、

十四歳以上二十歳マデノ者ヲバ入レルト云

フコトニナッテ居リマスガ、現在ノ教化院ノ

規則ヲ見マス、十四歳以上ノ者ハ親權者、

後見者、若クハ裁判所ノ許可ニ依ラナケレ

バ入院出来ナイコトニナッテ居リマシテ、是

等ノ不法行為ノアッタ場合ハ、當法ニ依リマ

スト、行政官ガ處分スルヤウナコトニ相成ッ

テ居リマスガ、教化法ニ依リマス、當然

司法省ノ區域ニ屬シテ居リマシテ、是ガ行

政官ノ手ニ移ルコトニナルト、憲法上ニ於

テ少シク差異ヲ生ジハシナイカ、斯ウ云フ

コトヲ頗ル疑問ニ存ズルノデアリマスガ、

若シ是等ノ處分ガ行政官ニ依ッテサレルコ

トニナリマシタナラバ、現在ノ刑法ヲ改正

スル必要ガアリハシナイカ、斯ウ存ズルノ

デアリマス、是等ニ對スル憲法上ニ生ズベ

キ解釋等ヲ御願致シマス

○牧野委員長 中野君ニ御諮リ致シマス、

大變結構ナ御質問デスガ、是モ關係法文ガ

全部揃ッテカラ、ハッキリ御願シタ方ガ宜シ

イト思ヒマス

○中野(種)委員 ソレデハ關係法文ガ揃ヒ

マスレバ次ノ時ニ御質問申上ゲマス

○牧野委員長 ソレデハ今日ハ此程度デ散

會致シマス、關係書類ガ提出サレマスレバ、

間ニ合ヒ次第ニ次會ノ委員會ノ日ヲ御通知

申上ゲマス

午前十一時二十六分散會

又國立感化院令等トノ關係モ見ナケレバナ
ラヌ、デアリマスカラ内務省ナリ司法省ニ
關係法律ノ刷物ヲ一ツ拵ヘテ戴キタイト思
ヒマス

○中野(勇)委員 只今委員長ノ述べラレタ
ル如ク、感化院ノ成績——府縣感化院ト國
立感化院トノ成績ノ統計ヲ御示シヲ願ヒタ
イ

○牧野委員長 關係法律ノ條文全部ト感化
事業ノ成績ヲ資料ニ頂戴スル、斯ウ云フヤ
ウニ願ヒマセウ

○中野(種)委員 荒川氏ガ多年此方面ニ御
盡力セラレマシテ、少年教護法ヲ茲ニ御提
出ニナリマシタ其努力ニ對シマシテ、衷心
ヨリ敬意ヲ表シマス、此教護法案ガ制定サ
レルトスルト、現在ノ感化院ガ廢止サレル
モノト思ヒマスガ、是等ノ經費關係、隨テ

現感化院ニ國庫ヨリ補助サレテ居リマスル
經費ト、今回教護法ニ示シテ居ル四分ノ一
乃至二分ノ一、是等ニ對スル所ノ國庫トノ
經費ノ關係、是等ハドウ云フ風ニナッテ居リ
マスカ、隨テ教化院ニ職ヲ奉ジテ居リマス
職員ナドハ現在ハ國庫ガ體力支給シテ居ル
ト思ヒマスガ、是等ノ點ニ於テ國庫ノ財政
ニ及ボス影響ナドヲ詳細ニ承リタイト思ヒ
マス、尙ホ其他少年教護法ヲ拜見シマス、